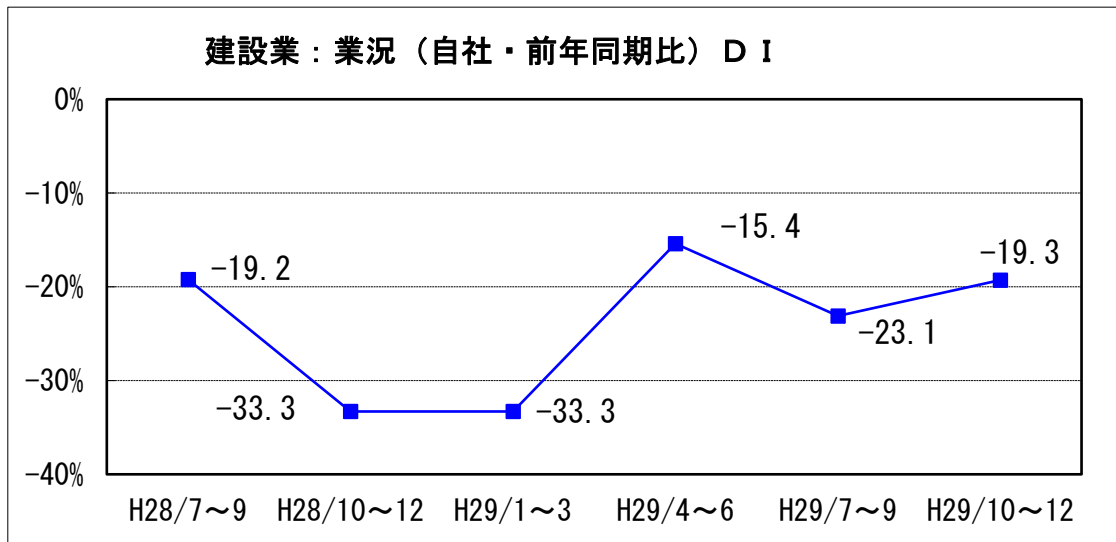


3. 建設業の動向

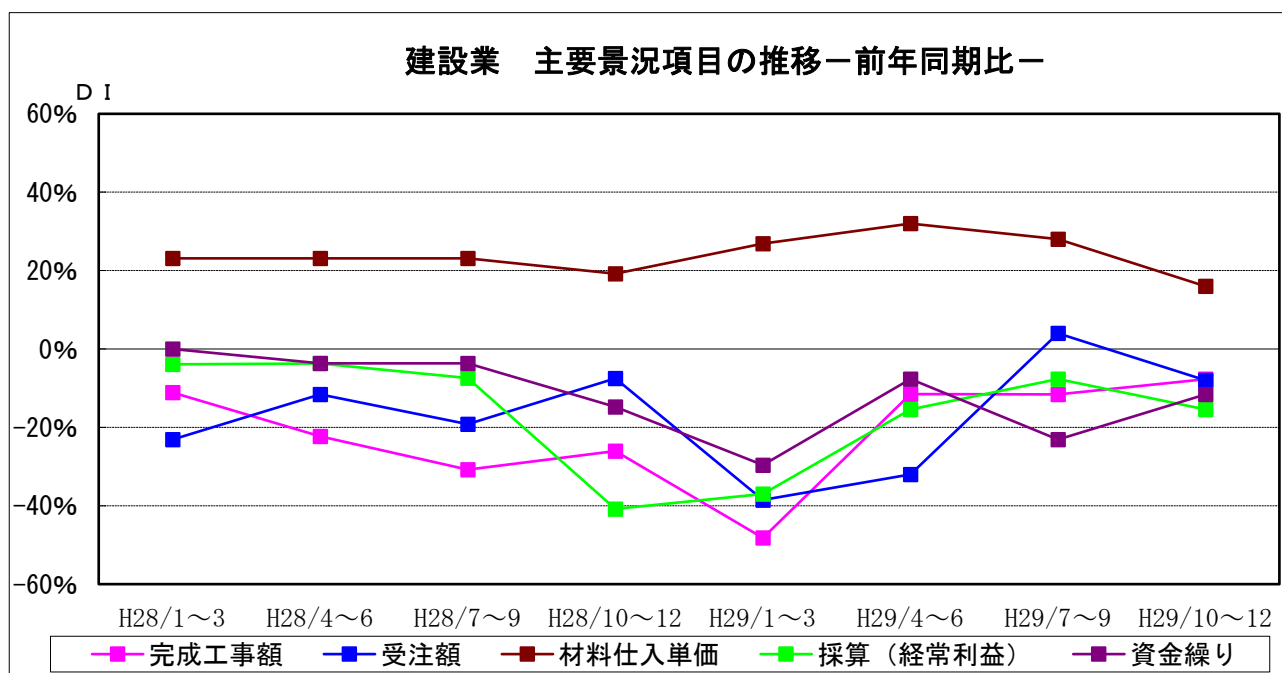
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は▲19.3。前期の▲23.1から3.8ポイントの上昇となった。来期見通しは、▲19.2と横ばいの見込み。



建設業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

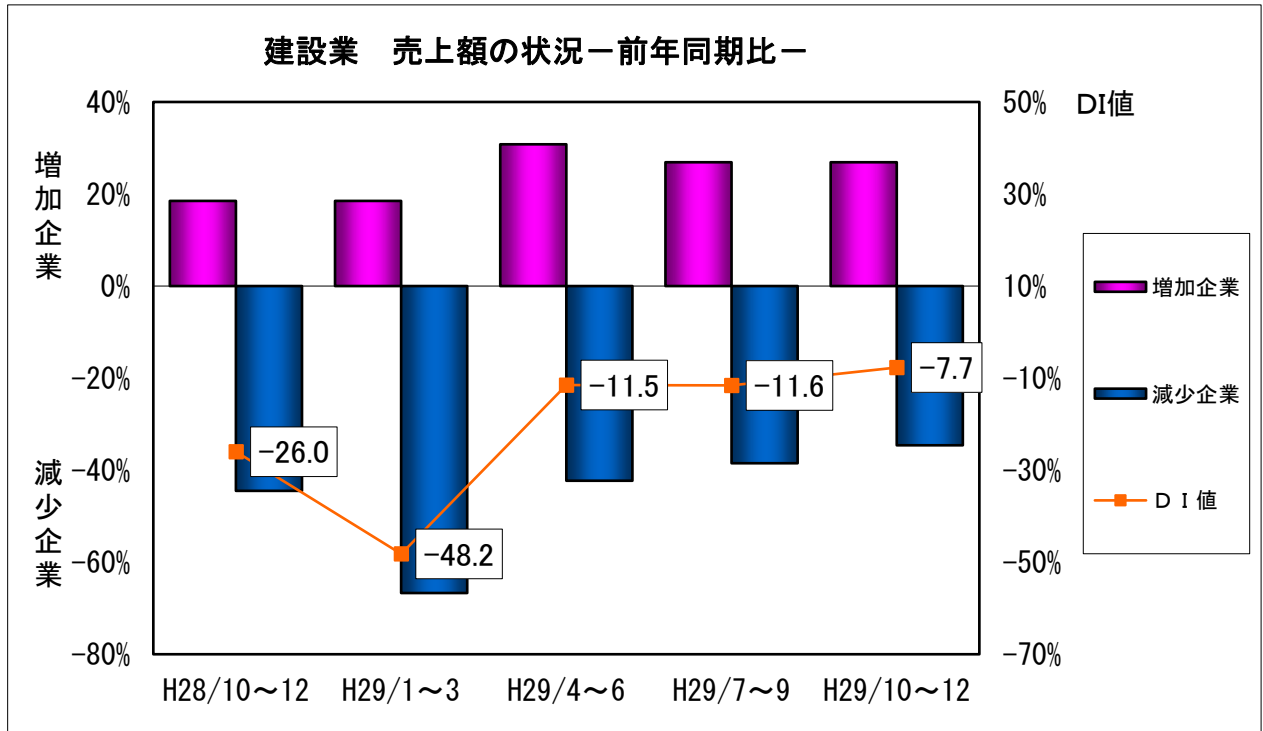
	前々期 (29年4月~6月)	前期(A) (29年7月~9月)	今期(B) (29年10月~12月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期見通し
完成工事額	▲11.5	▲11.6	▲7.7	3.9	▲15.4
受注額	▲32.0	4.0	▲8.0	▲12.0	▲24.0
材料仕入単価	32.0	28.0	16.0	▲12.0	0.0
採算(経常利益)	▲15.4	▲7.7	▲15.4	▲7.7	▲19.3
資金繰り	▲7.7	▲23.1	▲11.6	11.5	▲19.2



(2) 主要項目の概況（前年同期比）

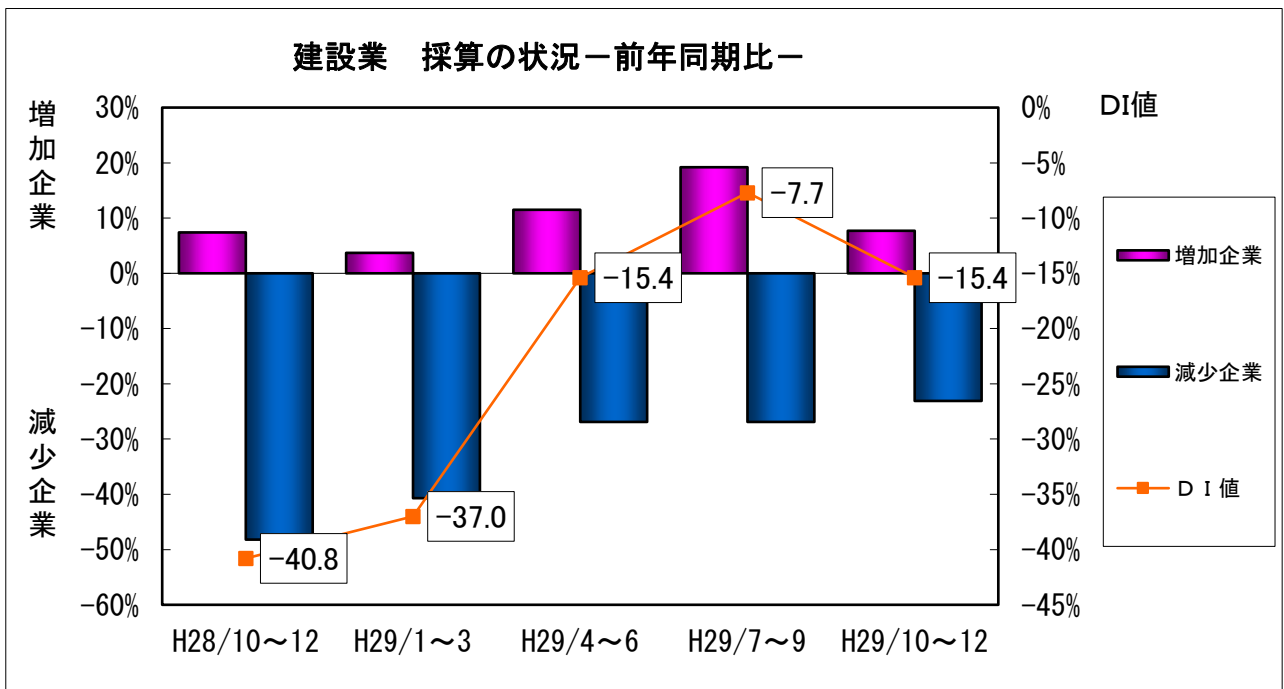
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額DI値は▲7.7。前期の▲11.6から3.9ポイントとわずかな上昇となった。来期見通しは▲15.4と下降の見込み。



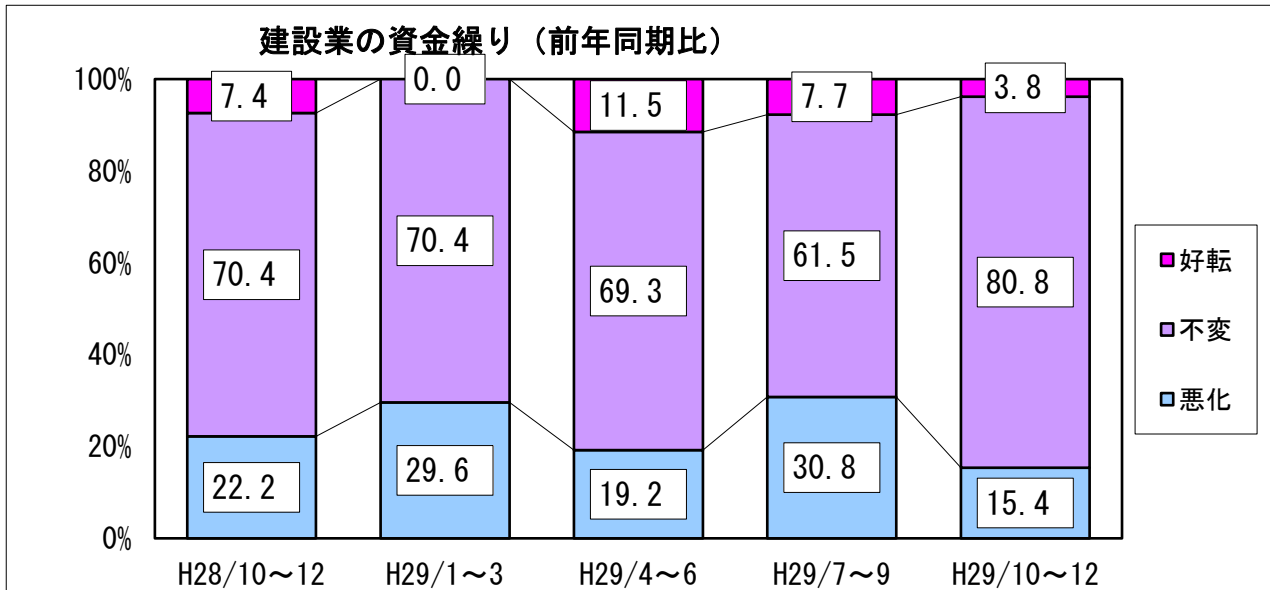
②採算（前年同期比）

今期の採算DI値は、▲15.4。前期の▲7.7から7.7ポイントの下降となった。来期見通しは、▲19.3とさらに下降の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は▲11.6。前期の▲23.1から11.5ポイント上昇した。来期見通しは、▲3.4と改善が見込まれる。

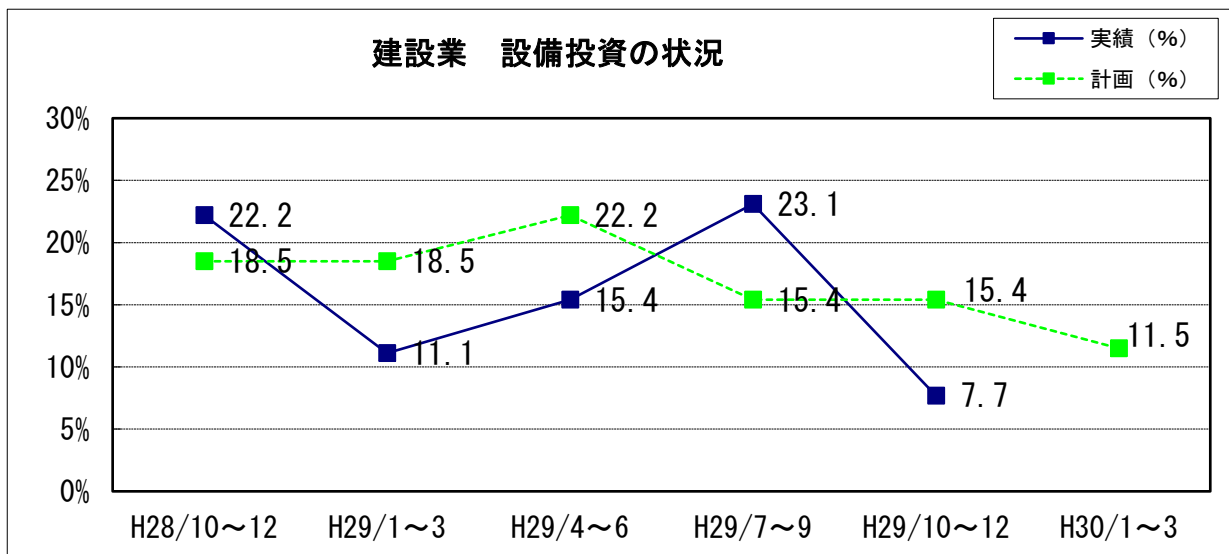


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	6	0	0	1	4	0	2	0	0	20
(%)	23.1	0.0	0.0	16.7	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	76.9
今期実施 (実数)	2	0	0	0	2	0	0	0	0	24
(%)	7.7	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.3
来期計画 (実数)	3	1	0	0	2	0	0	0	0	23
(%)	11.5	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	88.5

今期設備投資を実施した企業は2社（7.7%）。前期（平成29年7～9月期）の実施企業6社（23.1%）より減少。来期は3社（11.5%）が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「従業員の確保難」 (前期 22.7%→今期 33.3%)
- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 31.8%→今期 28.6%)
- ・ 「熟練技術者の確保難」 (前期 22.7%→今期 19.0%)
- ・ 「下請業者の確保難」 (前期 13.6%→今期 19.0%)
- ・ 「官公需要の停滞」 (前期 18.2%→今期 19.0%)

となっている。

